

第 6 期 事 業 年 度  
(平成 2 1 年度)

決 算 報 告 書

国立大学法人 浜松医科大学

平成21年度 決算報告書

国立大学法人浜松医科大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	6,260	6,361	101	(注1)
施設整備費補助金	770	1,148	378	(注2)
補助金等収入	34	1,177	1,143	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	32	32	0	
自己収入	13,212	13,472	260	
授業料、入学金及び検定料収入	624	631	7	(注4)
附属病院収入	12,407	12,678	271	(注5)
雑収入	181	163	△ 18	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,012	1,547	535	(注7)
引当金取崩	0	27	27	
長期借入金	2,588	2,588	0	
承継剰余金	44	43	△ 1	
目的積立金取崩	1,446	1,494	48	(注8)
計	25,398	27,889	2,491	
支出				
業務費	18,423	18,720	297	(注9)
教育研究経費	4,874	4,753	△ 121	
診療経費	13,549	13,967	418	
一般管理費	1,451	1,541	90	(注10)
施設整備費	3,390	3,768	378	(注11)
補助金等	34	1,177	1,143	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,012	1,315	303	(注13)
長期借入金償還金	1,088	1,080	△ 8	(注14)
計	25,398	27,601	2,203	
収入－支出	0	288	288	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、20年度以前に措置された退職手当等を取り崩したため、予算額に比して決算額が101百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備補助金については、耐震・エコ再生事業が措置されたこと等により、予算額に比して決算額が378百万円多額となっています。
- (注3) 予算段階では予定していなかった国からの補助金を獲得したため、予算額に比して決算額が1,143百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、主として入学定員の増等のため、予算額に比して決算額が7百万円多額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、外来患者数の増及び外来単価・手術料単価の向上等により、予算額に比して決算額が271百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入等については、主として資金運用利息の減等のため、予算額に比して決算額が18百万円少額となっています。
- (注7) 予算段階では予定していなかった国の組織、特殊法人からの受託研究の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が535百万円多額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、決算に係る承認額が見込より増えたことにより、予算額に比して決算額が48百万円多額となっています。
- (注9) 業務費については、診療経費において外来患者数等の増に伴う医療材料費の増及び新病棟移転に伴う医療機器等の整備により、予算額に比して決算額が297百万円多額となっています。
- (注10) 一般管理費については、退職手当の増等により、予算額に比して決算額が90百万円多額となっています。
- (注11) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が378百万円多額となっています。
- (注12) (注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,143百万円多額となっています。
- (注13) (注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が303百万円多額となっています。
- (注14) 長期借入金償還金については、長期借入金の利率の変更等のため、予算額に比して決算額が8百万円少額となっています。